



みなと

兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会 例会（第3学期）に参加して

2015年2月1日（日） 11:00～15:00 於 三宮駅周辺

神戸市勤労会館



声の図書より、松村陽子さん、田辺依子さん、河合和子さん、淡路忠義さん、羽島敦子さん、大下の6名で兵庫県中学校・高等学校青少年赤十字協議会主催の上記の行事に参加しました。

参加者は親和女子高等学校、神戸第一高等学校、滝川第二高等学校、兵庫県立国際高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、兵庫県立柏原高等学校の学生14名と先生8名。神戸青年赤十字奉仕団より1名と姫路看護専門学校より3名、支部から4名。ゲストとして協力してくださったのは声の図書のリスナーである視覚障がい者7名、ヘルパー2名と盲導犬1頭。

今回の目的は様々な状況にある人が共に暮らしやすい街とは、障がい者に対する周囲のサポートをガイドの実習を通して学ぶというものです。

白杖や車いすを利用されている方、盲導犬を連れた方の街歩きを声の図書のメンバーがサポートさせていただきながら高校生が中心となりガイドヘルプを体験しました。これまでの校内での福祉体験を基に視覚障がい者のガイドヘルプを街の中で再確認していきます。

グループに分かれ、朝、それぞれゲストの着かれる駅までお出迎えし「はじめまして」のご挨拶。学生はゲストのご希望をお聞きしコースを決めます。三宮の東公園まで散策を希望される方。デパート地下食料品売り場へお連れしお買い物を楽しまれる方。趣味をお聞きして映画館や楽器店の賑わいの中を散策される方。私たちは買い物客の中に混じってガイドヘルプを実体験して行きました。

昼食後の意見交換会では高校生より「交通機関での切符の買い方や、盲導犬について、トイレの誘導」など大変率直な質問や意見が交わされました。高校生のひたむきな姿勢とゲストの皆様の温かな表情に包まれて朝の緊張感もほぐれ、にこやかな笑顔で閉会となりました。

参加者全員が共に生きる安全・安心で暮らしやすい街について考え、お互いに学び合う貴重な体験となりました。

青年 大下 操



デイジー班だより



H.26 年度も、支部からの多大なご助力と団員皆様のご協力により、円滑に活動が出来ました。これで H.27 年度もまた新しい一歩が踏み出せます。

デイジー班で編集・作成 CD 「日赤声のアルバム」を発行して 8 年目を迎えます。リスナーさんのご利用は、H.20 年 6 月の 27 名から H.27 年 3 月現在で 199 名の登録となり、月刊「日赤声のアルバム」172 部と単行図書 CD34 作品を聴いて頂いています。

H.26 年度では、それほど大きな動きはありませんでしたが、大ブースで複数マイクを使って、PC でデイジー録音編集が従来のミキサーと併用して使えるようになりました。殆どのグループで既に使用されたと思いますが、さらに活用の機会が多くなることを期待しています。

またデイジー版単行図書の作成数が、テープ作成の時より飛躍的に伸びたことも記しておきたいと思います。単行図書の作成(録音・校正・編集等)がテープよりも迅速かつ精密にできるという、デイジーの特性の本領発揮、面目躍如といったところです。そして、多忙な作業の他に単行図書作成という根気の要る作業にも意欲的に取り組んで下さる団員の皆様に感謝します。新年度もさらに多くの単行図書が完成することでしょう。

以上、新年度へ向けての H.26 年度のまとめ等、感想を書いてみました。団員の皆様にはデジタル録音にもすっかり馴染んで頂いたので、さらに音楽とのミキシングや図書の編集法も身につけて頂くと、デジタル図書作成の面白さがもっと体感できます。自分だけの図書やアーカイブも作れます。希望される方には対応いたしますので、どうぞお申し出ください。

声の図書奉仕団の中で最も新しいデイジー班の活動も、やっと落ち着き軌道に乗ったと感じます。それだけに、慣れによるミスには一層の注意を払っていかねばならないと思っています。

デイジー班 直田 花子



点字班



今年度から例会が第2木曜10時～3時に変更になり、午前中にミーティング午後から作業になりました。

今年度は学校講習会の講師をして下さっていた方々が休まれ講師が2人になってしまいました。そこで皆が講師を出来るようにミーティングの後毎月1人ずつ講師の練習をすることになりました。最初の挨拶から子供たちに点字を書いてもらうまでです。そして、皆で気の付いたことを話し合います。とても緊張しますが点字の仕組みを再確認し、新たに勉強している気持ちになります。とても有意義な取り組みです。

子ども達へのメッセージ集は今年で10年になり最後になりました。子ども達へのメッセージ集は入力、校正、印刷、製本と大変でしたが、出来上がった時の達成感、10年間もの間長い間福井さんを中心に続けてこられたことは素晴らしいことだと思います。

メッセージカードは折り紙サークル紙ふうせんと一緒に作ってきましたが名称が「紙ふうせん」から「おりがみ かうべ」に変わりました。新たなメッセージカードになるかもしれません。

点字は凸面凹面がありなかなかすらすら読めませんがCDのケースラベル、家電、エレベーター等にかかれているのが読めるとうれしいものです。関心のある方はいつでもおいでください。お待ちしております。

ことばの花束 澤田 晴江



単行図書検討会



平成26年度 単行図書の貸し出し状況をお知らせします。

(H26年3月1日～H27年2月28日)

☆新刊登録は、19冊です。

内訳は、

{	・リスナーからのリクエスト本	4冊	}	です。
	・推薦本	13冊		
	・自薦本	1冊		
	・プライベート本	1冊		

☆貸し出しは、333冊です。

内訳は、

{	・テープ図書	43冊	}	です。
	・デージー図書	290冊		

数年前からデージー図書がテープ図書の貸し出しを上回り始めましたが、平成26年度は7倍近くになりました。これからもデージー図書利用者が増えるのかこの割合が続くのかどうか見ていきたいと思ひます。

19冊の単行本製作に携わってくださった方々 本当にありがとうございました。たくさん時間を費やしてできあがった単行本を一人でも多くのリスナーに聴いていただけるようにと昨年度は、次のことを試みしました。

ひとつめは、デージー単行図書目録のCDをご希望のリスナーにさしあげました。「声のアルバム」でお知らせしておりましたが、交流会で再度お知らせしましたら大勢の方が希望され、35人のリスナーにさしあげました。CD作成はデージー班、発送はことばの花束Gが担当しております。

ふたつめは、兵庫県声の図書赤十字奉仕団のホームページにデージー単行図書目録を掲載しました。単行本の分類、書名、著者名、所要時間を載せております。今年の1月より始めたばかりです。4か月ごとに新刊本があれば追加し、1年ごとに更新していく予定です。これらの新しい試みに加え、従来の点字班による点字版単行図書目録や、「声のアルバム」の新刊紹介などを通じて単行本の貸し出しが一冊でも増えることを願っています。

なお、リクエスト本、推薦本の朗読者を募集しております。各グループの代表の方は、グループ内で朗読して下さる方のお名前を挙げて頂き、当会まで提出して下さいますようお願いいたします。

毎月発行の「単行通信」には、単行本製作に関する最新情報が載っております。ぜひご覧ください。

単行本に関するご意見ご要望がございましたらどんなことでも構いませんのでお寄せ下さいませ。

今年度も宜しく願いいたします。

ことばの花束 山田嘉代子



朗読・音訳を見直す会



2月18日の勉強会に参加して（講師は小石則子先生）

15名の方が受講



順に題材PHP2月号の裏表紙を録音してきたものを聴く
他の方が感想を述べる。



そして小石先生からいろいろと助言を頂きました。

以下
私なりに感
じた心得で



淡路忠義

- ・自分が楽しむために読まない
- ・視覚障がい者の目とになれるように読む
- ・正しく・聴きやすく
- ・下読みをしっかりする
- ・人の朗読をたくさん聴いて耳を肥やす
- ・ただ文字を読むのではなく書かれている内容をよく理解して読む
- ・句読点があっても文章の繋がりが切れないように注意する
- ・テレビ・ラジオのアナウンサーの話し方を参考にする
- ・タイトル・本文の文字の大きさに合わせて読み方に気をつける
- ・間のとり方に注意し、力んで読まない

この他にも大切なことがあると思います。



「朗読・音訳を見直す会だより 11号」

朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳について必要だと考えられる事項を
発信しています。

今回は、録音図書の「校正」についてです。

原本通りに読まれているかを確認する作業です。

< 校正とは >

「著作権法第20条 同一性保持権」で、原本に忠実かつ正確に音声化するように定められています。加えて、聴いて分かりやすい音声化がなされているかにも気を付けます。

< 校正者 >

校正者とは、原本を音声化した者以外の第三者をいう。

校正者には、注意力・忍耐力・正しい言葉の知識・客観的な判断・謙虚な姿勢が求められます。

< 自校正について >

自校正とは、校正者に渡す前に、音声化した者が自ら原本通りに読んでいるかを確認（モニター）することです。

○原本を区切りのいい所まで録音し、モニターする。

こまめにモニターしながら録音を進めていくやり方が安全です（その際、ヘッドホン使用のこと）。

○原本を全て録音し終えたら、必ず全部通して聴き直すこと。

これは校正者に対する最低の礼儀で、自校正を完全にして渡すことを心がけましょう。

< 録音・読みに関する 校正のチェックポイント >

○録音状態：

- クリックノイズ・操作音
- 消し残し・ダブリ
- 周囲の騒音の有無
- 録音レベルは適正か
- マイクの距離は適正で、吹き音（ブロー）・口中音・舌鳴りがいないか
- ペーパーノイズ・振動音がないか



○誤読： 漢字、固有名詞、語尾、助詞、思い込み、読み飛ばし、脱行等の有無

○読み： 読み詰まりはないか、ピッチは適切か など

○その他： 全体的に安定しているか、読む速度は適切か、明瞭か など

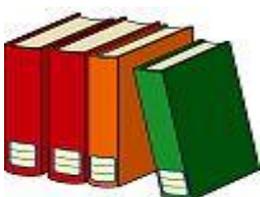
なお、校正者が訂正を指摘しない場合があります。

- ① 原本の誤植を誤植のままに読んでいる時
- ② 漢字の読みが複数あるとき、どれを選択しても文意を損ねない時
- ③ 母音の無声化・鼻濁音
- ④ 文意を取り違えるおそれのないアクセント・読みの未熟さ・読み癖
- ⑤ 内容を誤解するおそれのない図表・写真などの処理の未熟さ



以上ですが、詳しくは「音訳マニュアル 音訳・調査編」改訂版 をご覧ください。

校正は、聴く耳を育て、それがより良い録音に繋がります。日赤・利用者さんの読書意欲が増しますよう、団員一同研鑽を積んでいきましょう。



朗読・音訳を見直す会 三木京子

リスナーのお便り



後藤さん (三木市)

H.27.1.5

寒い日が続いています。

「声のアルバム」楽しみに聞かせてもらっています。いろいろなニュースも本当に良い勉強になります。

乱筆乱文、誤字が多くて読みにくいと思いますが感謝の気持ちをお伝えしたくて書かせてもらいました。ルーペ片手に・・・です。

平均寿命の事や、事業所 (ガンの病院) の紹介、漢方薬の風邪薬の事など、聞いても忘れるので私は聞きながら点字で書き写しています。何度も読んで「なるほど」と喜んでいきます。

こんなに嬉しく思っている会員が居る事をわかっていただければ幸いと思って書かせてもらいました。

一年もたつのが早いですね。どうぞ皆様お体をご自愛下さい。恥ずかしいのですが(文章が下手で)気持ちを分かっていたきたくて書かせてもらいました。

広瀬朝子さん

H.27.1.12

有難うございました。

今年もお世話になり感謝しております。

又よろしく願います。

ありがとう。



藤野高明さん

H. 27. 1. 17

寒中お見舞い申し上げます。

いつも定期的な日赤の声の雑誌をお届け下さり、本当に感謝しております。

6種類、ないし8種類の声の雑誌が遅れることもなく安定して作られていることを、皆様方の日頃のお仕事ぶり推察させていただき、本当に大変なことだと思います。

12月号はまだ聞き終わっていないのですが、新年号は聞き終わりました。

ハンガリーの旅は特に興味深く聞きました。今年は11月23日出来る限り予定して置きたいと考えています。

私も昨年76歳になりました。わりと元気に暮らしております。この2月にはエッセー集「楽しく生きる」をクエイツ鴨川という京都の出版社から出す予定です。

ご一読いただければ真に嬉しいです。

それでは、またお便りします。

牧野まりえさん

H27.2.9

いつも「声のアルバム」をきかせていただきありがとうございます。

たくさんのお情報を得ることで、日々の生活に潤いがあり、喜んでいきます。お詫びです。

「10月号」をしまいこんでいたようで、本日返却させていただきます。申し訳ありませんでした。



中西信義さん(愛媛県)

H27. 2. 25

声のアルバムは素晴らしいです。始めから終わりまで全て聞いています。

ヨーロッパ旅行記や防災の情報など勉強になります。

やぎが狼を助ける話に感動しました。点字でコミュニケーションが取れたら嬉しいです。奉仕団の皆さんによろしくお伝えください。

花時計プログラム



<p>花時計 (H26) 12月号 あかりの会</p> <p>A面</p> <ol style="list-style-type: none">1. 落語 桂 米二 初天神2. NHK ハート展より 朗読3. 新刊の案内 昨夜のカレー・明日のパン <p>B面</p> <ol style="list-style-type: none">4. トーク こころを育てたむかし遊び5. リスナーさんのお便り6. 朗読 日本文化の劣化7. 朗読 新年のおせち料理に こめられた願い	<p>花時計 (H27) 1月号 ともしび</p> <p>A面</p> <ol style="list-style-type: none">1. インタビュー バロックの調べに魅かれて ゲスト 弥永寿子さん <p>B面</p> <ol style="list-style-type: none">2. 能の魅力3. 角田光代エッセー集 「まひるの散歩」より “料理とモテの相互関係について” “魅惑のキッチングッズ”4. 「老優」 日本経済新聞より 村松友視エッセー5. 新しい単行図書案内
---	--

<p>花時計 2月号 はあもにい</p> <p>A面</p> <ol style="list-style-type: none">1. 日本赤十字社と ANA が繋ぐ二つの復興安住の地に蘇る 「神戸の壁」2. 日赤「声のアルバム」を音声パソコンで聞いてみましょう <p>B面</p> <ol style="list-style-type: none">3. 沢山の羊と笑顔に出会って4. 新しいデイジー図書のご案内5. 屋久島レポート6. お便り	<p>花時計 3月号 ことばの花束</p> <p>A面</p> <ol style="list-style-type: none">1. 歌紀行 春よ来い2. てっちゃん工房 「ちくわとかまぼこの手作り体験」3. 災害時の食べ物の備蓄について4. 新しいデイジー図書のご案内5. お知らせ <p>B面</p> <ol style="list-style-type: none">6. 風の電話7. ブラインドサッカーがくれた 生きる勇気
---	---

